龍谷の森での学生の研究活動

龍谷大学理工学部・教授　里山学研究センター・研究員
宮浦　富保

龍谷の森とその周辺域では、学生による研究活動はもちろん、教員や里山学研究センター研究員の研究が精力的に行われている。この稿では学生研究に焦点を当て、特に卒業研究と修士研究のタイトルのみ取りまとめて、龍谷の森とその周辺での学生の研究活動の記録とする。

2018年度における龍谷の森での卒業研究のタイトルを表１に示す。全部で24件の卒業研究が行われた。なお、龍谷の森と其の周辺地域での卒業研究は、環境ソリューション工学科以外の学生も行っている可能性があるが、本報告では実施状況が把握されている環境ソリューション工学科の卒業研究のみをとりまとめた。龍谷の森を利用した卒業研究は2006年度から行われており、例年10～20件であり、これまでの合計は209件に達する（表３）。

2018年度に論文提出が行われた修士研究の中には、龍谷の森で行われたものはなかった。龍谷の森を利用した修士研究は2009年度から報告されており、例年０～６件であり、これまでの合計は27件に達する（表２）。

表１．2018年度に龍谷の森とその周辺で行われた卒業研究

研究室	氏　名	論文タイトル
市川	宮崎　義己	森における横方向の拡散に着目した風洞実験
市川	喜多　陽大	大津市堅田と瀬田丘陵における微小粒子状物質PM2.5成分の比較
市川	中川　椋介	大気化学輸送モデルを用いた瀬田丘陵の黄砂現象の解析
市川	関　光一	龍谷の森内のNO_2濃度分布の解析
市川	前　直希	バイオモニタリングを用いた龍谷の森における粒子状物質の無機イオン成分の解析
市川	和田　佳久	龍谷大学瀬田学舎におけるヒートアイランド現象の経時変化の実態把握
市川	横　祐一	龍谷大学瀬田学舎における熱環境と運動との関係性
宮浦	廣田　真希	ソーダライム法による二酸化炭素吸収量測定法の検討
宮浦	西村　伊織	龍谷の森におけるソヨゴ林上層部の葉の展開と落葉
宮浦	川村　有希	パイプモデル理論によるソヨゴの分枝構造
宮浦	樋口　一真	空撮画像からの樹木個体の識別と胸高断面積の推定
宮浦	溝川　武尊	龍谷の森の林床有機物の分布量とその環境との関係
宮浦	園田　悠斗	龍谷の森におけるCWD及び小型枝の分解過程
宮浦	杉本　祥優	小型UAVで撮影した空撮画像を用いた台風被害調査
宮浦	皆木　良太	「龍谷の森」におけるソヨゴ林の細根動態の長期観察
宮浦	磯井　千明	フォトスキャンを用いた樹冠の三次元モデルの解析
宮浦	北澤　玲乃	携帯型レーザー距離計を用いた葉面積密度の垂直分布の推定
遊磨	原田　博得	大津市瀬田におけるカマキリ類の生息環境

遊磨	森	厚貴	天神川におけるツチガエルが利用する川岸環境
遊磨	森脇	優介	LED照明がガ類の灯火飛来に及ぼす影響
横田	大西	由依	キンモクセイの二度咲き現象について
横田	川﨑	美幸	龍谷の森における菌類相調査から見た2018年の渇水の影響
横田	安宅	芽衣	龍谷の森におけるナラ枯れ被害について
横田	松浦	航海	里山放置林における皆伐後10年間の植生回復の状況

表２．2006年度以降の卒業研究および修士研究の件数

年度	卒業研究数	修士研究数
2006	10	
2007	20	
2008	16	
2009	10	2
2010	16	5
2011	18	2
2012	17	5
2013	20	6
2014	34	2
2015	18	3
2016	13	1
2017	17	1
2018	24	0
累計	233	27